

国立工芸館 実演＋トークショー

記憶や思い出の中の風景を 可視化すること



講師 中川 衛 氏
重要無形文化財「彫金」保持者



中川衛《金銀象嵌「翡翠置物」》
2017年 作家蔵 撮影：野村知也



中川衛《象嵌籠銀花器「荒磯波」》
2023年 作家蔵 撮影：野村知也

国立工芸館の展覧会「心象工芸展」（9月6日～12月1日）に関連し、
出品作家の中川衛氏をお招きし、「記憶や思い出の中の風景を可視化
すること」をテーマに実演していただきながらお話を伺います。

日 時：令和6年9月21日（土）
午後1時30分～午後3時（開場 午後1時）

場 所：国立工芸館 多目的室
（金沢市出羽町3-2）

参加費：無料（要事前申込）

定 員：45名

司 会：岩井美恵子氏
（国立工芸館工芸課長、本展企画者）



WEB申込はこちら
WEBまたはお電話で
お申込みください

【お問い合わせ】

兼六園周辺文化の森等活性化推進
実行委員会（県文化振興課内）
☎ 076-225-1371

【講師略歴】

金工作家

1947年石川県生まれ。1971年金沢美術工芸大学産業美術学科卒業。大学卒業後は松下電工株式会社（現・パナソニック株式会社）にプロダクトデザイナーとして就職。27歳で金沢に戻り、加賀象嵌に魅了されて彫金の道へ入る。

高橋介州に師事。2004年に戦後生まれとしては初となる重要無形文化財「彫金」保持者に認定される。

中川が注ぐ風景へのまなざしは、象嵌の精緻な彫り込みによって普遍的な情景となり、国境を越えて人々の心を打つ。

本展では、「重ね象嵌」に本格的に取り組んだ記念碑的な作品から最新作までを展示する。

【展覧会のお知らせ】

会期

2024年9月6日(金) – 12月1日(日)

休館日

月曜日

(ただし9月16日、23日、10月14日、11月4日は開館)、

9月17日、24日、10月15日、11月5日

開館時間

午前9時30分-午後5時30分


※入館は閉館の30分前まで

観覧料

一般	1,000円 (900円)
大学生	800円 (700円)
高校生	500円 (400円)

※()内は20名以上の団体料金・割引料金

September 6 - December 1, 2024
National Crafts Museum



心象展
工 Imaginal 芸 Crafts 展

2024年9月6日(金) – 12月1日(日) 開館時間: 午前9時30分～午後5時30分
休館日: 月曜日(ただし9月16日、23日、10月14日、11月4日は開館) 入館は閉館の30分前まで
Hours: 9:30 - 15:30 Admission until 30 minutes before closing. Closed on Mondays (except September 16, 23, October 14 and November 4). Opening: 9:30, Closing: 15:30. Entrance: 30 minutes before closing.
国立工芸館 National Crafts Museum